



国際児童年1979



国連児童権利宣言(抄)

第7条 無償の初等教育
や能力を開発する均等な
機会を持つ。



第7回日本ジャンボリー

撮影：高倉清雄

国際児童年によせて

浜松第22団団委員長 大木 俊 夫



エブリ・チャイルド・ハズ・ア・ビュー
ーテフル・ネーム……。小鮎が川面を
はねるような、あのリズムカルなメロデ
ーがNHKテレビから流されているせい

もあろうか、総理府の調査(5000人対象の無作為面接方式)によれば、国民の61パーセントが、今年が国際児童年であることを知っているという。それでは、国際児童年が国民一人ひとりの日常生活とどのように関わっているのか、とたずねたら、果して何パーセントの人が答えられるであろうか。8月1日から1カ月間、愛知県長久手町にある愛知青少年公園を中心に、「世界と日本のこども展」が約24億円の予算で開催されることは新聞、テレビで知っている人もかなりいるであろう。子供にせがまれて、夏休みに子供展へ出かける計画をたてた家庭もあるかも知れない。しかし、こうした行事へ、休日の遊園地や観光地めぐりと同じ意識で出かけては、国や愛知県が中心となって多額の金を費す意味が薄れてしまう。言うまでもなく、行事の意義は、これを契機に、子供が幸せに生きる権利を守る決意を、世界中の親に促すことにある。

同じ総理府の調査によると、「世界の子供のなかで、日本の子供は幸せな方か」という質問に、「幸せ」と答えた人が80パーセントに達したという。果して日本の子供は幸せであろうか。

たしかに、現在難民キャンプに収容されているインドシナ諸国の子供たちと比べれば、幸せだといえよう。少くとも物質的には。しかし、緑の樹木に被われた遊び場を奪われ、小さな部屋で母親監視のもとに、食物と知識を詰め込まれている子供たちの生活は、どこか養鶏場のブロイラーに似ていないであろうか。インベーダーゲーム自粛宣言をした全日本遊園協会会長が、いい若い者が熱中するにすれば、何やらむなし遊びですね、と自ら語っている。インベーダーゲームに熱中する青少年とブロイラー的生活とは、深い関係があるはずである。

二十年前、国連で決議された「児童の権利宣言」は言う。「人類は、人類が与えるべき最上のものを子供に与える責任を負っている。」その最上のものの一つは、緑に被われた空間ではなからうか。そこに遊具など無くてもよい。子供は遊びの天才である。思う存分想像の翼をはばたかせて緑に溶け込むに違いない。われわれの子供の頃がそうであったように。しかし、ひょっとすると、われらのブロイラーは想像の翼までもなえてしまっているのかも知れない。かつて、江戸は世界でも稀な緑の多い都市であったという。たとえ1坪ずつでもよい、緑地回復に努めなければならない。そして、その緑の中で、体験的教育によって子供を育てていかなければならない。わがボーイスカウト活動のように。弥栄。

昭和54年度 地区総会にあたって

浜松地区委員長 内 田 時 世



近頃世有識者の間で、「教育の危機だ」と数多い事例より叫ばれています。

私共大人は、21世紀に向かって、いかにすべきかと、その責任を考えなければならぬとおもいます。

教育とは、学校教育、家庭教育、社会教育、の3本の柱によって、成り立っている事は皆様ご存知の通りでございます。

此の3つの分野が夫々、学社連携、異年令学童集団教育、家庭教育の見なおし、又は、社会教育の拡大と、私達をとりまく大人の世界でも、真剣に日本の将来について努力をしていることも、皆様にはご理解いただける事と存じます。

国連において「児童権利宣言」が採択されてから20年ということで、本年を「国際児童年」と記念しています。

日本の子供達は幸福になったと申しますが、核家族化、入試問題、環境問題、等、問題がないわけではありません。現代のいわゆる、教育公害よりせめて子供を守るため、又、此の教育公害を子供がのりこえるためには、唯一無二の方法として、私はボーイスカウト教育をとりあげたいとおもいます。それは、子供達のためにと考えることよりも、子供達と共に考えているのが、ボーイスカウト教育であると信じているからです。ス

カウト運動は、子供達に奉仕する大人の運動であると言われておりますが、私は子供達と共に、子供たちと一緒に奉仕をしたいと考えております。

勿論、今年だけが国際児童年ではありません。此の記念すべき年にこそ、21世紀の大人を育てるために、彼等、子供と共に、スカウティングの基本の再考は有意義だとおもいます。

その基本は言うまでもなく、班制度と進歩制度の2本の柱です。これがスカウティングでしか出来ない教育であるという自信とほこりを持って実行しようではありませんか。此の2本の柱を育てるために、隊が有り、団が有り、地区があるので。

或るグループリーダーの言葉に「自分より利口な人を協力者に得ることが出来れば、その人は、その協力者よりも利口だということになる」と申しております。私はもとより、愚者であり、何んのとりえもない人間であることは、自分自身がよく知っております。然し、地区をとりまく、皆様のような有能な協力者を得て私は大変倅者でございます。どうぞ子供は未来であります。少年は未来であります。

明日に向って、スカウトと共に、スカウティングに奉仕を一緒にいたしましょう。皆様のご協力を是非ともお願いいたします。

昭和54年度 事業計画

日本ボーイスカウト浜松地区

区分 月別	地 区 関 係	ス カ ウ ト 関 係	日 連 ・ 県 連 関 係	講 習 会	研 修 所
4		緑の羽根募金 DM, DC研修会	実修所CS35期(30~5/5)愛知県 〃 BS49期(29~5/5)〃 〃 BS50期(30~5/6)那須野営場	中部(14~15)(清水)	
5	浜松まつり駐車場奉仕(3~5) 地区総会24	スカウト週間	実修所CS36期(5~10)那須野営場 日連総会(26~27)東京	東部(26~27)(富士宮) 中部(26~27)(島田)	CS18期 (3~6)浜松
6	指導者養成講座(野営法)10 〃(野営法)(30~7/1) 団委員長研修会24		県連総会(3)静岡静鉄健保会館 実修所SS4期(18~24)那須野営場 団委員長特修所(8~10)〃	東部(9~10)(伊東) 中部(16~17)(静岡)	BS17期 (14~17)朝霧
7	指導者養成講座 (地図・測量・通信)15	SSヒルモント派遣(28~8/17)		西部(袋井)	
8		東海カブラリー(名古屋市)(19) アドベンチャーキャンプ(グリーン ンキャンプ場)(11~15)	実修所CS37期(20~25)那須野営場 〃 BS51期(25~31)〃		
9			県大会(西部会場)(16)袋井市 実修所CS38期(11~16)那須野営場 〃 BS52期(18~24)〃 〃 SS5期(24~30)〃	西部(浜北)	BS18期 (6~9)朝霧 SS4期 (20~23)朝霧
10	J・O・T・A 指導者養成講座(特技研究会)14		東海指導者集会(20~21) 実修所CS39期(13~18)那須野営場 〃 BS53期(6~12)〃 団委員長特修所(19~21)〃	東部(三島)	CS19期 (7~10)富士
11	地区大会(佐鳴湖) 指導者養成講座(特技研究会)25	ソフトボール大会3)自衛隊	SSスカウトフォーラム(18)	西部(浜松)	
12		SSクリスマス大会		東部(富士)	
1	日の出遠拝式(中田島海岸)1				
2	指導者養成講座(宗教)	B-P祭(各小地区ごと)			
3	班長訓練野営(渋川川宇連野営場) (20~23)	緑の羽根募金	団委員長特修所(28~30)那須野営場		
備考					

昭和53年度地区協議会収支決算報告書

自 昭和53年 4 月 1 日 至 昭和54年 3 月31日 日本ボーイスカウト浜松地区協議会

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異 額	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異 額
前 期 繰 越 金	620,589	620,589	0	会 議 費	100,000	60,700	39,300
地 区 分 担 金	806,600	825,750	19,150	印 刷 費	80,000	50,600	29,400
委 託 金	65,000	65,000	0	事 務・通 信 費	200,000	195,330	4,670
寄 附 金	350,000	650,900	300,000	慶 弔 費	30,000	117,250	△87,250
雑 収 入	65,750	166,581	100,831	備 品 費	350,000	59,750	290,250
				旅 費	70,000	43,960	26,040
				研 修 費	475,000	316,036	158,964
				行 事 費	220,000	120,460	99,540
				運 営 費	70,000	45,000	25,000
				保 管 料	60,000	60,000	0
				補 助 金	100,000	100,000	0
				分 担 金	4,000	4,000	0
				雑 費	50,000	87,760	△37,760
				予 備 費	98,939	0	98,939
				立 替 金	0	198,000	△198,000
合 計	1,907,939	2,327,920	419,981	合 計	1,907,939	1,458,846	449,093
				差 引 次 期 繰 越 額		869,074	

上記の通り収支決算報告をいたします。

昭和54年 5 月24日

日本ボーイスカウト浜松地区 会 計 伊 熊 正 治

上記収支決算監査の結果正当・正確であることを認めます。

昭和54年 5 月24日

日本ボーイスカウト浜松地区 財 政 委 員 長 金 森 武 夫

昭和54年度浜松地区協議会役員名

() 内の数字は所属団を示す。

協 議 会 長 吉 沢 純 道 (1)
 副 協 議 会 長 柳 本 冬 彦 (10) 青 葉 貞 雄 (11)
 林 良 太 郎 (15)
 地 区 委 員 長 内 田 時 世 (4)
 地 区 副 委 員 長 内 田 嘉 一 (1) 宮 沢 広 士 (12)
 市 川 重 雄 (16)
 財 政 委 員 長 金 森 武 夫 (12)
 財 政 副 委 員 長 内 山 茂 (6) 斎 藤 繁 雄 (11)
 杉 本 晴 夫 (16) 間 片 浩 (24)
 内 山 達 三 (25) 黒 瀬 説 雄 (引2)
 組 織 拡 張 委 員 長 山 中 将 司 (15)
 組 織 拡 張 副 委 員 長 吉 沢 正 道 (1) 坪 井 愛 三 (7)
 河 合 久 夫 (10) 袴 田 栄 治 (15)
 宇 野 三 男 (18) 野 中 豊 治 (19)
 館 孝 道 (25) 高 須 岩 夫 (引2)
 指 導 者 養 成 委 員 長 新 谷 豊 (16)
 指 導 者 養 成 副 委 員 長 小 倉 清 隆 (12) 奥 沢 達 司 (14)
 渥 美 俊 策 (19) 大 木 俊 夫 (22)
 高 部 良 平 (23) 鈴 木 晴 雄 (可1)
 進 歩 委 員 長 山 中 洋 一 (可1)
 進 歩 副 委 員 長 山 田 昌 彦 (6) 谷 口 久 雄 (7)
 森 島 久 男 (11) 高 橋 忠 雄 (21)
 加 藤 省 三 (24)
 野 営 行 事 委 員 長 竹 村 徳 一 (20)

野 営 行 事 副 委 員 長 岡 本 一 郎 (1) 鈴 木 宗 太 郎 (10)
 薩 川 鉄 次 (12) 斎 藤 元 司 (14)
 川 瀬 愛 次 郎 (15) 木 村 清 治 (21)
 神 谷 満 雄 (21) 梶 村 邦 一 (22)
 白 尾 老 男 (24) 尾 川 安 雄 (25)
 健 康 安 全 委 員 長 平 山 木 一 (15) 木 村 俊 夫 (12)
 健 康 安 全 副 委 員 長 長 尾 静 夫 (14) 倉 地 香 (18)
 永 田 千 一 (細1) 木 村 俊 夫 (12)
 地 区 会 計 高 部 守 弘 (23)

 浜 松 地 区 コ ミ ッ シ ョ ナ ー 牧 野 績 (4)
 副 〃 (C S 担 当) 後 藤 守 利 (10)
 〃 (B S 担 当) 名 倉 惣 一 郎 (15)
 〃 (S S, R S 担 当) 福 世 正 志 (18)
 〃 (中 央 小 地 区 担 当) 玉 木 功 一 (21)
 〃 (西 部 小 地 区 担 当) 永 田 通 児 (7)
 〃 (南 部 小 地 区 担 当) 山 下 二 郎 (10)
 〃 (引 佐 小 地 区 担 当) 村 上 虎 吉 (細1)
 事 務 長 柴 田 薫 (1)
 事 務 次 長 中 島 繁 光 (6) 鈴 木 俊 輔 (11)
 訓 練 チ ー ム キ ャ ッ プ 原 田 芳 彦 (24)
 ス カ ウ ト 浜 松 担 当 山 口 照 司 (16)
 無 線 ク ラ ブ 代 表 井 ノ 口 泰 三 (20)
 ヨ ッ ト ク ラ ブ 代 表 内 山 恵 介 (引2)

〔弥栄〕 静岡県連盟表彰

昭和54年6月3日13時より、静岡市東鷹匠町1丁目 静鉄保健会館ホールに於て、下記の方々が名誉ある表彰を受けられました。お目出度うございます。今後一層のご精進をお祈りします。

○県連盟特別有功章

山田昌彦 浜松第6団 団委員長

○県連有功章

- 井ノ口 智子 浜松1団CS隊長
- 広木 孔 ♪ 1団CS副長
- 河原崎 敏 ♪ 1団BS隊長
- 増尾 忠雄 ♪ 1団SS副長
- 柴田 薫 ♪ 1団RS副長
- 岡本 一郎 ♪ 1団副団委員長
- 松井 伸篤 ♪ 4団CS隊長
- 千葉 聡 ♪ 4団BS隊長
- 中島 繁光 ♪ 6団SS隊長
- 永田 通児 ♪ 7団BS隊長
- 光部 四郎 ♪ 7団副団委員長
- 坪井 愛三 ♪ 7団副団委員長
- 板倉 昭二 ♪ 7団々委員
- 鈴木 雅美 ♪ 10団BS(1)隊長
- 山下 二郎 ♪ 10団BS(2)隊長
- 柴田 真次 ♪ 10団BS副長
- 山下 三郎 ♪ 10団BS副長
- 富田 扶司夫 ♪ 11団BS(1)隊長
- 依田 留也 ♪ 11団々委員
- 坪井 悟 ♪ 12団CS副長
- 望月 馨 ♪ 12団CS副長
- 小粥 慶次郎 ♪ 12団BS副長
- 石野 研二 ♪ 12団BS副長
- 小倉 浜孫 ♪ 12団SS隊長
- 木村 敏夫 ♪ 12団々委員
- 薩川 鉄次 ♪ 12団々委員
- 小笠原 勇 ♪ 14団BS隊長
- 奥沢 達司 ♪ 14団々委員長
- 馬場 俊郎 ♪ 15団BS(1)隊長
- 村松 国弘 ♪ 15団BS(2)隊長
- 名倉 惣一郎 ♪ 15団SS隊長
- 川瀬 愛次郎 ♪ 15団々委員
- 袴田 洋一 ♪ 16団BS(1)隊長
- 鈴木 秋夫 ♪ 18団副団委員長
- 八木本 忠夫 ♪ 19団BS隊長
- 鈴木 護 ♪ 19団々委員長
- 渥美 俊策 ♪ 19団副団委員長
- 山口 洸 ♪ 19団々委員長
- 滝本 守 ♪ 20団CS(2)隊長
- 竹村 廉三 ♪ 20団BS(2)隊長
- 原田 耀造 ♪ 20団BS副長

- 古田 栄一 浜松20団SS隊長
- 井ノ口 泰三 ♪ 20団RS隊長
- 竹村 徳一 ♪ 20団々委員長
- 杉山 守夫 ♪ 20団副団委員長
- 原田 博次 ♪ 20団々委員
- 小田木 正三 ♪ 20団々委員
- 塩谷 正二 ♪ 20団々委員
- 竹山 隆芳 ♪ 21団CS副長
- 玉木 功一 ♪ 21団BS隊長
- 木村 清治 ♪ 21団々委員長
- 高橋 忠雄 ♪ 21団副団委員長
- 滝川 貞幸 ♪ 22団BS隊長
- 杉山 正禎 細江1団CS隊長
- 村上 虎吉 ♪ 1団BS隊長
- 鴨藤 多作 ♪ 1団BS副長
- 岡田 松男 ♪ 1団々委員
- 太田 進 可美1団BS隊長
- 良知 三夫 ♪ 1団SS隊長
- 内山 隆治郎 引佐2団CS隊長
- 内山 一男 ♪ 2団CS副長
- 神谷 恭二 ♪ 2団BS隊長
- 内山 恵介 ♪ 2団SS隊長
- 高須 岩夫 ♪ 2団々委員長
- 黒瀬 説雄 ♪ 2団副団委員長

隊褒彰綬

○5年綬

- 浜松14団 CS隊 浜松22団 BS隊
- 浜松24団 CS隊 浜松24団 BS隊

○10年綬

- 浜松20団 BS(1)隊 細江1団 BS(1)隊
- 可美1団 CS隊 可美1団 BS隊

○15年綬

- 浜松12団 CS隊 浜松12団 BS隊
- 浜松14団 BS隊 浜松15団 CS隊
- 浜松15団 BS隊 浜松16団 BS(1)隊

○20年綬

- 浜松7団 CS隊

○25年綬

- 浜松1団 BS隊

特別年功章

○5年章

- 天野 益枝 浜松1団 増尾 忠雄 浜松1団
- 山崎 仁義 浜松6団 柴本 道雄 浜松6団
- 外山 房子 浜松14団 片山 ふさ子 浜松14団
- 杉山 たみえ 浜松16団 原田 耀造 浜松20団
- 竹村 廉三 浜松20団 友田 文哉 可美1団

○10年章

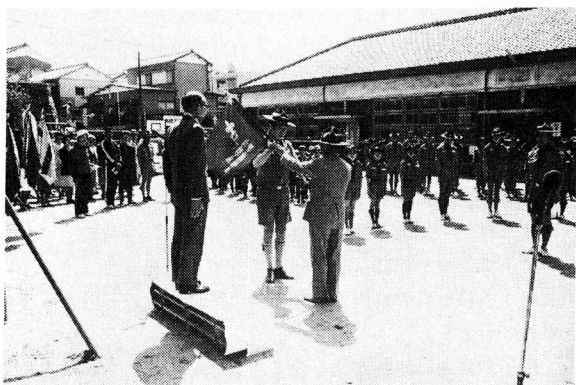
- 高倉 清雄 浜松7団 名倉 惣一郎 浜松15団
- 太田 進 可美1団

浜松第23団ボーイ隊の 発隊にあたって

浜松第23団ボーイ隊隊長 辻村 竹一

4月15日、スカウト達の心のように澄み渡った青空の下、浜松23団ボーイ隊の発隊式が挙行されました。

思えば、4年前にカブ隊発足以来、団委員長、育成会長をはじめとして数多くの役員、父兄の協力と援助があり、また、浜松20団には、スカウト達が一年間お世話になり、スカウト活動とはどのようなものかを体験させていただき感謝の気持ち一杯です。



私たち23団ボーイ隊も、地区の友隊を一つの手本として見習い、スカウト活動を活発に実施して発展をさせていきたいと思っています。

23団の所在地である志都呂地区は、大変自然に恵まれた地域であり、ハイキングに、オリエンテーリングに、植物採集に…と、隊活動には大変よい所です。「自然は、偉大な教師である」といわれています。自然はあくまでも自然のままに、そしてその中にとけこんで、清らかな大気の中で、人間の真の姿にかえって自分をとりもどし、生きるよろこびを発見するようなスカウト活動をやってゆきたいと思っています。

また、ルソーの言葉にもあります「自然にかえれ」いつまでたっても新しい言葉です。スカウト達を自然にかえし、のびのびと活動をさせてこそ本当の意義があると思います。

いろいろな活動の中から、貴重な体験をし、それが今後スカウト達が社会人となった時に、何かに活かされるなら最大のよろこびと思います。

最後に、発隊までもない私達ではありますが、地区の皆さん方の暖いご指導とご鞭撻によって、よりよい23団を作って行きたいと思っていますので是非よろしく願います。

志都呂町の由来について

我が町志都呂町と志都呂陣屋の歴史についてお話しさせていただきます。

今を去る1200年の昔、藤原不比等の子孫静足が京より志都呂に移り住み、海岸を開拓し、氏神をこの地に祭りました。

その後、志都呂は農村として開けて参りましたが南北朝の頃後醍醐天皇の皇子宗良親王の家臣が志都呂西の山の上に丸山城を築きたてこりました。その一部の人々が志都呂に定住し、

この地の発展に寄与して参りました。

更に、1619年(元和5年)徳川家康の命により番屋が有ったとも伝えられる。今皆様の居られる志都呂幼稚園のある所に、今切関所奉行の(新居の関所の役人のことですが)旗本の陣屋が建てられました。それ以来服部権太夫、松平半右衛門等の旗本は、志都呂から舟路2里を新居の関所へ通い勤めました。この当時の旗本の石高は、4295石7斗余との事ですが、その後6229石となり、更に幕末には、8480石6升4合3勺との記録も残っています。

また、この陣屋に勤めた代官で、下山千蔵という人が居ました。この人は幕末の頃の遠州に庶民文化としての俳諧を広めました。

この少し前、この陣屋には小倉源太左衛門政国という人も居りました。この人は弓術に秀でた人で、近郷の人達に弓術を広めました。

同じ頃、この地からは辻村作兵衛久道という和算術の大家も生まれました。こうした影響が現在に引き継がれ、お陰様と逞しく健やかで知識豊かな子供達が次から次へと育って参りました。

当、浜松第23団もこの様な基盤の上に立ち、より良い子供達の育成に努めたいと思います。暖かく見守って載さたく存じます。



班長になって

浜松第15団ボーイ隊 伊藤 恵司

ぼくは、今年初めて班長になるわけではないが、初めのころは、なにをやればいいのかわからなくなったときもある。だがぼくは、今年も班長と言うことで、すこしはらくだ。だが初めのころは、隊集会でそうだったが、隊長が言わないとできないほどだったが、このごろでは、きちんと二年間の歳月が安心して隊集会でも気がするに出来、とても楽でやりやすくなって来た。そしてぼくたちの班は、協力性があり、まとまっているのでいい班だと思った。

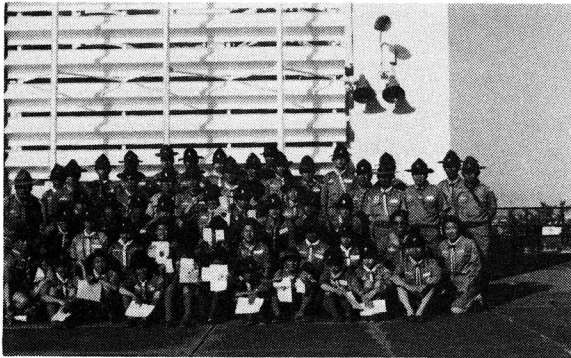
そして、ぼくはその班の班長で、班員を引っぱるげんどうりよくと言ってもいいほどだが、あまり引っぱりすぎて、あまやかさをきかしているようではだめだ。一級二級の区別だけでもはっきりさせていい班を作りたいと思う。だがその班作りにじゅうだいなことを一つ一つやっていかなければならない。そのような点だけでも、もっとまとまりのある班にするためにも、いい班長になって、いい班を作りたいと思います。

中央小地区 デンチーフ研修会

中央小地区コミ 玉木 功一

5月20日(日)住吉青少年の家で開催しました。各隊より派遣されたスカウト38名と、スタッフ17名が集まりました。

開会式で、1年間デンチーフとして、カブ隊の良きお兄さん役としてガンバルために、今日1日楽しく学んで下さいと話があり、研修会に入った。1.デンチーフの仕事、2.スマートネス、服制、3.基本動作、4.国旗、5.組集会の実修、その他にいろいろな研修を行なった。しかし研修を受けたスカウトが名前だけのデンチーフでは何もならない。受講したスカウトは忠実に実行しなければならないと思う。又各隊のカブの隊長さんはデンチーフをつかわなければ何もならない。そして研修会で習った事の肉付をしなければいけない。そして良いデンチーフを作り、CS隊を発展させましょう。



中央小地区 デンマザー研修会

中央小地区 井ノ口 智子

5月13日、東部公民館に於いて、中央ブロックデンマザー研修会が行なわれた。

母の日と重なり、参加者が少ないのではと心配しつつ会場に向かった。しかし、私の心配をよそに真剣なまなざしで、受付に立つお母さん方につかり、ほっと胸をなでおろした。

開会の時点では、皆が緊張し、少々固くなり気味でしたのに、研修会も進むにつれて、ゲーム、歌、実習にと盛り上がり、時間のたつのも忘れる程。研修が終り、皆様から提出された感想文は、私達リーダーにとって貴重な資料を提供して下さいまし



た。その中から二、三をひろってみますと、デンマザーではないけれど、この研修に参加し、スカウト運動のあらましや、子供への接し方、組、隊の内容と仕事ははっきりして来た。もっと早く研修を受けるべきだったとか、新入隊員のお母さんは全員この研修を受けるべきだ。又一回だけの研修会でなく、数ヶ月おいて実際の経験を通しての問題点等を出し合う機会を持ってほしい。又ゲームを童心に返ってとりくんだ。朝は重い気持ちで家を出て来たけれど、時間のたつのも忘れて楽しい一日だった等々…、その中にもきびしいお言葉もあり、リーダー一同反省し、今後の活動の教えとしていきたいと思います。

最後になりましたが、この研修会開催に当たり前々より準備していただきました皆様にお礼を申し上げ、増々活発なスカウティングが出来ますようお祈り致します。

デンマザーになって

浜松第1団カブ隊
デンマザー 金原 弘子

昨年カブ隊に入れていただき二年目でデンマザーをお引受して3カ月、子供達と共通の話題が話せる様に今月のテーマについて子供の本や雑誌、テレビのマンガ等を見たり、今まで捨てていた空箱も次の時何かに使えるのではないだろうかを集めたりしています。

親子で共通の話題が話し合える事は心のふれ合いに大切であると思います。

毎週12の輝く瞳を見ていると、来週も全員が集まれます様にと思いつつ、この子供が大きくなった時、少しでも楽しかった思い出が出来る様に一生懸命努力しています。よろしく願います。



デンマザーになって

浜松第1団カブ隊
デンマザー 平松 清子

隊長が、ある日「私は36人の子持ちです」とおっしゃっていましたが、私は突然6人の子供達の親分になりました。

親分といっても、面倒見の良い親分の方ではなくて、ガキ大将の方ではないかと思っています。

DMになったばかり……なんて思っていたらもう四ヶ月になります。その割には落ちつかず、失敗だらけで反省しきり、ところが、やる気満々なDCが協力してくれることになり一安心。6人の子分は、みんな明るい元気な子供達、スカウト生活が、人間性の栄養になってほしいと願い、親分は張り切るのである。

みんな、いつも元気、を忘れないでね。

国連児童権利宣言(抄)

国連は1948年の総会で世界人権宣言を採択しました。この宣言の中には児童に関する部分が含まれていましたが、その後、児童の立場と特別な権利を別に保障すべきだとの声が高まりました。そして1959年11月20日、国連総会は78カ国代表のもとに、「児童の権利についての国際連合宣言」を全会一致で採択しました。この宣言は、国連憲章の人権規定や、世界人権宣言(特に第25条)の児童に関する権利をさらに明確にしたものです。

宣言は前文と10カ条の原則及び普及のための決議より構成されています。

第1条 すべての児童は以下の権利を、人種、皮膚の色、性、宗教、政治的、地位に関係なく平等に受けることが出来る。

- 第2条 自由と尊厳の中で、自分たちが成長できる特別な保護や機会を与えられる。
- 第3条 出生時より名前と国籍を有する。
- 第4条 十分な栄養、住宅、医療、レクリエーション等の社会保障を受ける。
- 第5条 肢体不自由児は、特別の養護を受ける。
- 第6条 両親の保護と責任のもとに成長し、愛情と道徳的及び物質的保障を受ける。
- 第7条 無償の初等教育や能力を開発する均等な機会を持つ。
- 第8条 災害時には、優先して保護と救済を受ける。
- 第9条 あらゆる放置、虐待、搾取から守られる。
- 第10条 あらゆる差別から守られ、平和と四海同胞の基で育てられる。

(日本ユニセフ協会資料より)



わが団25才

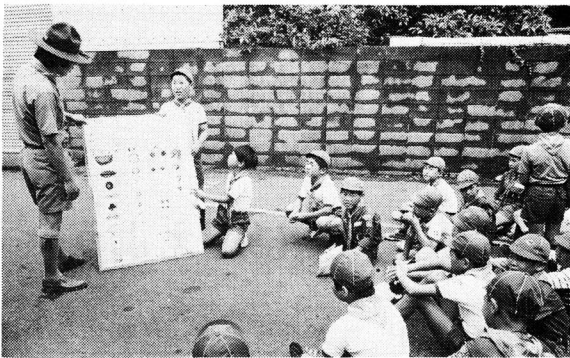
浜松第1団BS隊長 河原崎 敏

わが団、浜松1団は今年で25才を迎えた。10年ひと昔という諺もあるが、してみると二昔と半分になる。この間いろいろ苦難もあったと聞いている。あるときは地区のけん引車となり、またあるときは息もたえだえ、あぶないときもあったとか。

いずれにせよ25年の歴史を刻んで今日に至ったのである。私もリーダーの一人としてこの重みを大切に1団の旗を守ってきたい。

スカウト運動は息の長い運動である。25年の伝統におおげず、先輩のこれまで培った1団の伝統を守り、よき後輩を育成していくことが、わが団を永遠の団に、また永遠のスカウトにしていく道であると思う。

今日スカウト活動はなかなかむつかしく大へんである。子供



たちは、学業に追まわれ、かつまたクラブ活動に学習塾にと日曜も祭日もなく、ほとんど自分の時間をもっていない有様である。私たちリーダーも職場と家庭などで、なかなか思うようにならないのが現実の姿であって、こうした環境の中でスカウト運動を続け発展させていくことはほんとに困難であるといえる。

しかし、ここで私たちリーダーが、あるいは大人が弱音をはいたら負けである。みんなの力で、なんとしてもスカウト運動を続けなければならない。俺がやらんで誰がやる、こんな気持ちで頑張らなくちゃー。

田植えをやって

浜松第21団ボーイ隊トラ班 伊藤 壮一

田植えをやって思ったことは、草とりがよくできなかったところ。それは、なえを植えていくと、ところどころに草がはえていたところ。なえのすう養分が草にとられてはいけなないので、ぼくは、草をとりながらうえて行きました。

なえの植えかたは、ぼくにとってよかったなあと思います。うえたところを見ていったら、だいたいたてにいちよくせんとうれたなあと思います。それともう一つ思ったことがあるのだけど、それは、すぐの時間で終わったなあと思ったことです。やっぱりむだ話がないとはやくすむのだらうと思います。

だれかが、どろなどをなげ ていた人が1人いたんだけど、それはよくないと思います。しんけんにやっている人がいたのになげたりしていたからです。

ことしもまた、おいしいおこめができればいいと思います。

暑中お見舞い申し上げます

浜松地区協議会長 吉沢純道	浜松地区副委員長 内田嘉一	浜松地区副委員長 市川重雄
浜松地区委員長 内田時世	浜松地区副委員長 宮沢広士	県連副コミッショナー 三輪悦爾
浜松地区コミッショナー 牧野 績	浜松第25団 B C 団 副団 副育 S S 委 團委 育成 副副 隊 員 員 成 長長長 員 長 長 会 岡柴新中德油倉新桔徳正館尾内倉遠新 井田村村田井田村川田田 川山田藤村 日 佐 敬祐清隆芳幹 出幸 秀孝安達一 静秋 造利孝則郎宏誠夫一進治道雄三郎雄賀	浜松第1団 R S B S C 副 副 S S S S 委 團委 育 隊副副 隊 員 員 成 長長長長 長 長 員 会 渡増川木河鈴河鈴広天柴井一松岡吉内 辺尾上村原本合木木野田ノ 下本沢田 崎 口同 年忠文憲 幸明ふ 益 智 欣一正嘉 啓雄雄弘敏子美み孔枝薫子 司郎純一
浜松地区事務長 柴田 薫	可美第1団 S B S C 副 副 副 S S S S 委 團委 育 副副 隊 員 員 成 長長長長 長 長 員 会 島良中太中山青伊友鈴山李太 知村田村本島藤田木中村屋田 智 英三俊 芳惠 恵由文晴洋道禎浅 男夫晴進子子子二哉雄一男一一	浜松第14団 
浜松第20団 団委員・リーダー 一同	浜松第18団 育 成 会 長 城 内 保 団 委 員 長 倉 地 香 団 委 員 一 同 R S 隊 長 浜 田 清 一 S S 隊 長 福 世 正 志 B S 1 隊 長 伊 熊 有 祐 2 隊 長 植 田 幾 雄 C S 隊 福 田 茂 雄	浜松第10団  団委員・リーダー 一同
浜松第23団 =いつも元気=	浜松第19団 S B C C 健 野 進 組 財 副 副 育 S S S S S 導 康 營 指 織 團 團 育 2 1 安 行 歩 者 養 政 委 委 成 隊 副 隊 副 隊 全 事 委 委 委 員 會 長 補 長 長 長 長 長 員 員 員 長 長 會 庄 影 八 野 古 小 尾 野 石 舟 徳 土 山 幸 渥 野 鈴 鈴 司 山 木 中 橋 沢 崎 井 越 田 屋 口 田 々 木 野 野 鈴 本 本 本 美 ま り 健 太 隆 政 祐 良 俊 豊 真 春 訓 良 忠 智 り 次 重 久 隆 政 祐 良 俊 豊 真 雄 之 久 夫 子 子 登 郎 美 男 忠 義 二 洗 三 記 策 治 護	浜松第6団 =夏に鍛えよう=

暑中お見舞い申し上げます

<p>浜松地区財政委員長 金森武夫</p>	<p>浜松地区指導者養成委員長 新谷 豊</p>	<p>浜松地区野営行事委員長 竹村徳一</p>
<p>浜松地区組織拡張委員長 山中将司</p>	<p>浜松地区進歩委員長 山中洋一</p>	<p>浜松地区健康安全委員長 平山木一</p>
<p>浜松第22団</p> <p>B 団副団育 S 副團委成 副隊長 員員長長 長長 員員長長</p> <p>彦鈴木滝鈴加石渡辻高梶大 坂木下川木藤岡辺村島木森崎 沢 沢 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸 英宏邦卓通義通春邦俊波 雄昌夫幸実久丈平夫一夫衛宏</p>	<p>浜松第11団</p> <p>團委員長 齊藤繁雄 副 森島久男 鈴木良雄</p>	<p>浜松第24団</p> <p>團副團育 委副委成 員隊長長 員隊長長</p> <p>C B S S S S 副隊長長 副隊長長</p> <p>大和田小藪青細市原加白間袴 一橋田中沢下野井川口藤片尾田 同由 房仲尚之信茂芳省老五 江鼎子市男彦雄明彦三男浩平</p>
<p>細江第1団</p> <p>S B C 団副団育 S S 副團委成 副隊長 員員長長 長長 員員長長</p> <p>野内北鴨村水斉宮横影野県藤上早永仲 末山沢藤上田藤崎山田山末野島昭戸田 真 正安和多虎隆理賞正順政和芳直太新千直 彦夫宏作吉久子人禎子美彦雄基郎一一</p>	<p>浜松第4団</p> <p>S B S 団 S S 副團委 副隊長 員 長長 長長 員長</p> <p>野鈴木牧千溝浅鈴西松吉鈴松後山内 口木本野葉井木野井田木井藤葉田 華由ひ 光 奈美と伸伸 忠義慧寅時 一実茂績聴子世み子篤精一平男真雄世</p>	<p>浜松第7団</p> <p>R S B C 団副団育 S S 副團委成 副隊長 員員長長 長長 員員長長</p> <p>酒坪山加高村森永中菊北和井中板山青坪谷光 井井泉藤倉松川田村地川田上村倉田木井井口部 己 一愛 勝清邦房通 計良卓之公昭昭左愛久四 三三 勝信雄男雄雄肇男雄人吉一二夫二雄三郎</p>
<p>浜松第15団</p> <p>R S B B C 団副団育 S S 第1 副團委成 隊長 員員長長 長長 員員長長</p> <p>平野 名倉惣一 国俊昌春 武 一郎 弘 郎 春 春 春 春 春 春 春 春</p> <p>川平山 川平山 川平山 川平山 川平山 川平山 瀬山 瀬山 瀬山 瀬山 瀬山 瀬山 愛治 愛治 愛治 愛治 愛治 愛治 木 木 木 木 木 木 栄 栄 栄 栄 栄 栄 治 治 治 治 治 治 将 将 将 将 将 将 司 司 司 司 司 司 良 良 良 良 良 良 太 太 太 太 太 太 郎 郎 郎 郎 郎 郎</p>	<p>浜松第16団</p> <p>RRS BBB C 団副団育 SSS SSS 21 副團委成 副隊長 員員長長 長長 長長 長長 員長長</p> <p>伊石新矢加渡矢袴袴矢黒松石中佐沢坂黒鈴杉新市 藤津井部藤辺部田田部岩山津島野根口柳木本谷川 さ た 正史信正 興正洋徳ち健み 浩方雅洋昭利晴 重 美郎一則勝司則一代子一え宏二康子一夫夫夫豊雄</p>	<p>浜松第12団</p> <p>團委員長 宮沢広士 團委員 一同</p>
<p>引佐第2団</p> <p>S B C C 団副団育 S S S S 副團委成 隊長 員員長長 長長 員員長長</p> <p>内山 内山 内山 内山 内山 内山 神谷 神谷 神谷 神谷 神谷 神谷 恵 一 一 一 一 一 一 介 二 二 二 二 二 二</p> <p>伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 伊藤 秋 秋 秋 秋 秋 秋 二 二 二 二 二 二</p> <p>高須 高須 高須 高須 高須 高須 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 岩 岩 岩 岩 岩 岩 説 説 説 説 説 説 雄 雄 雄 雄 雄 雄</p>	<p>ボーイスカウト日本連盟浜松需品部 スポーツ品全般 体育器具・器材設計施工</p> <p>旭スポーツ店</p> <p>浜松・連尺町2 TEL 54-4301</p>	

* 浜松第1団* スカウトのひろば *

カブスカウトに入って

カブ隊 村松大助

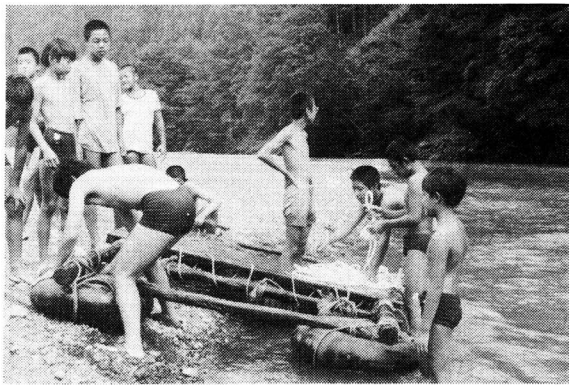
ぼくは、カブスカウトに入って、カブスカウトはどのようなかなど、思いました。

カブスカウトで、いろいろなことをやるので楽しみです。なかでも、しゃえいとえんそくがすきです。

組長のごうれいで、ほかの組に負けないようにと、一しょうけんめいがんばろうと思います。

夏休みになると、すぐしゃえいがあるが、はじめてなので、今からどんなことをやるのかと、しんばいやら、楽しいことをいろいろとそうぞうしています。

この間のおいものうつけも、暑くて、水くみも大変だったがおもしろかった。早く大きな、おいもが出来るといいな。



カブスカウトに入って

カブ隊6組 船越晴寛

ぼくは、1年おそかったけど、カブたいに入りました。6月には、カブ畑にさつまいもを植えました。さつまいものつるを見たのは始めてです。お父さんも来てくれ、草取りや土をたがやしてくれました。さつまいもの植え方を習ったりしました。たがやした土に、水をたっぷりかけないとすぐにかわいてしまうので、水をたっぷりかけました。秋にいもの取り入れをするのが楽しみです。

それから、カブブックのナイフの使い方をお父さんに教えてもらいました。まだ始めてなので親指を切ってしまいました。しゃちほこを作りました。なかなかうまく出来ませんでした。

7月22、23日には、キャンプがあるので楽しみです。カブ隊に入って本当によかったです。

班ハイクに思う

ボーイ隊班長 竹田安彦

6月23日(日)、ぼくの班(ラビット班)は班ハイクを行なった。6月は班ハイクを計画し、実行することになっていた。6月3日と10日の2回にわたって班集會を開き、ハイクの目的、ハイクの種類、日時、コース、持ちもの、参加人員など計画書を作り、隊長に提出した。

隊長から班ハイクの許可が出たので、予定どおり6月23日に実行することにした。

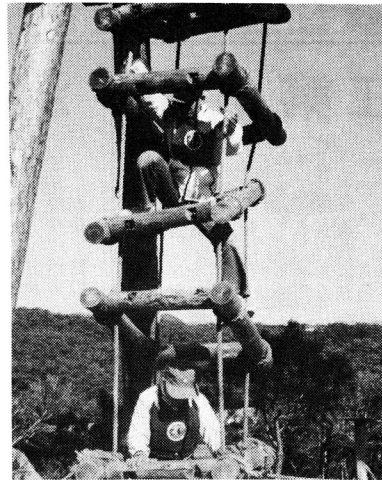
出発の朝、隊長からいろいろと注意を受けたあと、旅費をもらって(1人500円)浜松駅に行き天竜川まで電車に乗った。電車はすぐ、天竜川駅に着いてしまったのでつまらなかった。

駅から歩いて、まずはじめは金原明善の記念館に入っていると、明善翁の業績について研究した。金原明善については、社会の時間でも勉強していたので、わかりやすかった。

ここを出たあとは第二の目的地である、天竜川の河川敷での飯ごう炊飯である。歩いて20分くらいで鉄橋の下についたが、天竜川ではアユ釣でにぎやかであった。ぼくらは人のいない静かな所をさがして炊事の準備をした。食料は前もって準備していたので、たき木と水があればすぐできるようにしておいた。

食事は思ったよりうまくでき、みんなおかわりをして、たいらげてしまった。

天竜川の流れをながめ、自然の雄大さと明善翁の大きな業績を思いながら、自分で作った食事をたのしみ、午後3時ころ隊に帰って、無事班ハイクが終ったことを隊長に報告した。



ぼくの班

ボーイ隊班長 天野裕之

ぼくの班はシェパード班である。ボーイ隊は毎年スカウトが多くなるので、今年また一つ班が誕生した。

4月1日の誓いの式のとき、隊長から新しくできる班の班長になってくれといわれたのでびっくりした。この時班長、次長など役務の指名があり、ぼくがシェパード班の班長になった。次長は岡本君である。班員は中1が1人であと4人は月ノ輪から上進した新まいである。全部で7人であるからにぎやかだが、新しいのでまだみんなばらばらであるから、班長と次長でみんなをまとめて1団で1ばんがんばりやの班にしたいと思っている。4月29日の野営では優秀班になったので、みんながんばればできることを証明した。

隊長は、シェパードは勇かんで利こうな犬だからこれに負けないように、男らしく、勇気のある賢い班に育ててほしいといわれたので、ぼくは班長として、きっと優秀な班に作ってみせる。

* 浜松第6団* スカウトのひろば*

田 植 え

ボーイ隊 木下 敬也

六月十七日ぼくたちは、隊ルームから自転車で、天竜川町まで田植えに行つた。

ついでから、はじめに説明をきいて、いよいよ、はだしになつて田んぼにはいる。思ったよりとてもふかかった。とても足が、なまあたたい。

はじめは、土の中になにかいそうで、へんな感じがしたけど、だんだん慣れてきた。

ひもに、つぎ目があるので、そのつぎ目の前に、いねをうえた。手がどろだらけになった。おたまじゃくしの小さいのが、いっぱいいた。

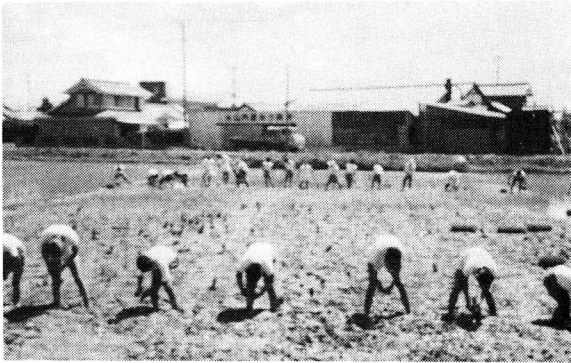
やっともう少しだというところにきて、とうとうおわつた。そのときはやれやれと思つたけど、もう一つこんどは、もち米のいねをうえるので、ほかの田んぼへ行つた。

こんどは、さつきとちがって水が多かった。くるときは、近くなので、はだしであるいてきた。ついたら、道路が、あつくて、立っていられなかつた。

もち米のいねは、ふつうの米とちがって大きかつた。だけどみんな、近くの川で、カエルをつかまえていた。もち米の方は、大人の人が、だいぶやってくれてはやく、おわつた。

そして、やっど昼ごはん。自転車で近くのお寺へ行つて、そこで、そうめんを、食べた。とてもおいしがつた。食でおわつたら、すいかも、でたので、うれしがつた。

そして、たべてから隊ルームに、かえつて、おわつた。六月十七日は、つかれたけど、とても楽しがつた。



班長になつてから

ボーイ隊 近藤 崇夫

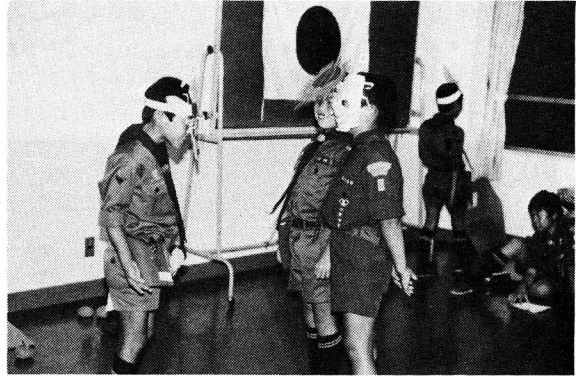
ぼくが班長になつてから約2カ月たちました。ぼくは何の気なしにやつてきたのではありません。自分の班を上達させて行こうとしていますが、その先頭に立たなければならない班長(ぼく)が出席率がとても悪いのです。なぜかという部活と重なつてしまいます。だからぼくはでれない。これが理由ですが、実際ぼくはレギュラーでも何んでもありません。ただその試合に参加しなければいけないのです。しかし

「それでは理由には、ならないじゃないか」という人も隊員の中にはいるようです。しかしこれからはなるべくなくすつもり

です。それは、時間が重なるということは、時間をずらせばいいのです。なので今度から班長会は土曜日の午後になりました。なぜかという班長会議のとき、昔は、ぼくたちが今までやつてきた日曜日の午前よりもっと班員たちのあいている時間を用いていたのだと聞き、ぼくもそうしたのです。

これでみんなの集まるのも多くなるでしょう。あとぼく自身がしつかりやれば、みんなもついてきてくれるでしょう。そして他の班に負けない班にしていきたいと思つています。

班長になつて2カ月まだ時間は充分あります。その内に一番良い班にしていきたいと思つています。



悪がつたしゃえい

カブ隊2組 中村 通

今年のしゃえいは、だいぶ悪がつたです。それはみんなと同じ集団行動がうまくとれなかつたわけです。そのわけは、みんなが人間ちえのわをやつた時、自分は、同じ行動をとらず、ぬまに足をおとしてしまい、そして、みんなより行動するのをそくしてしまつたのです。

しかしこの事を深く反省するために毎日、1 Kmの道のりを走つています。そして、このことを教訓にみんなと集団行動をとれるようにしたいです。

しゃえい

カブ隊3組 岡田 光広

ぼくは、みんながたいルームに集まつて青少年の家へ向かつて出発している間に、けん定練習のためそろばんへ行つていたので、少しおくれてさんかしました。

ぼくが一番楽しがつたのは、げきでした。はじめに、とよ田君が「今からやく病神のげきをやります」と言つて、三組のみんなが、れいをしました。

ぼくがおじいさん役になつて、わたでひげとかみの毛をつけて出たら大わらいになりました。山口君が、おばあさん役になつて、ボール紙で作つたまんまるいめがねと、かつらをつけて出たら、また大わらいになりました。次にやく病神の定君とすず木君が、ぼくたちの家にとりついたら、福の神がやつて来てやく病神に薬を飲ませて二度と出られないようにして、ぼくと山口君に食物にこまらないふくろをくれてさい後に竹山君が「これで三組のげきをおわります」と言つてれいをしました。

* 浜松第14団* スカウトのひろば *

カブスカウトに入って

カブというさぎ 小出真也

ぼくは今年、カブスカウトに入りました。いろいろおもしろいことがあります、友だちとけんかをしたり、あそんだりたのしいです。

でも、きびしいときや、おもしろくないときや、自分かつてなことも、できないときはいやですが、でも、カブスカウトはきめられたことをやるので、がまんしてがんばります。楽しいことは、ハイキングしたり、工作を作るときです。きれいなことは、歌がうまくうたえないのでいやです。ぼくらのデンマザーは、とてもやさしく、いろいろくれます。つらいことがあっても、いっしょうけんめいがんばりたいと思います。



ぼくら14団

カブ隊しか 岡 周

「おはよう。」

「オーッス。」

日曜日の午前10時、ぼくたち14団の団員は、成子の坂を上る。浜松の西から東から、そして、ぼくみたいに浜名湖のそばからも団員は集まってくるのだ。そうだ、浜松中のカトリックの教えを信じそして愛し、神のあることをみとめるぼくたちは、成子の教会に集まってリーダーやデンマザーといっしょに、そして第1日曜日には教会の日曜学校の先生といっしょにすごすのだ。たがいにたすけあい、いたわりあうカブスカウトの心は神の心、そんなぼくらはケンカもするし、いじわるなやつもいるんだ。でも帰りには仲よしのわで手をつなぎ、又会う日をたのしみにしてわかるのだ。

ボーイスカウトになって

ボーイ隊タイガー班 堀尾国男

3年6カ月の、カブスカウトの生活を終えて、今度、ボーイスカウトに上進した。1番始め、ボーイスカウトの先輩達を見て、ぼくは、「かっこいいなあ。」とか「おもしろそうだなあ。」とか、いろいろと考えたが、実際は楽な物ではなく、がんばらなくてはいけない事が、4月の親子ハイイクで分かった。

まず、始めにおどろいたのは、先輩の人達の歩くのが速い事である。先輩達は「スカウトベース」で行くが、それがとても速いのである。ぼくは、後ろでマラソンをしているようなかんじであった。ぼくは、歩くのに夢中で、さっさと歩く先輩達が不思議に思えた。

もう一つは、地図の見方が速い事である。どんな細い道でも見のがさずに、てきばきと道を見つける。

成子教会から佐鳴湖公園まで行く途中、先輩達が突然走り出した。隊長が「どうしたノ」というと、1人が早口で「火事だノ」と言った。隊長はそのげん場へ走って行った。ぼくも横っばらが痛いのがまんして、隊長の後を追って行った。すると、トラック1台分ぐらいの広さで火がどンドン燃えている。みんなでハットに水をくんで火の上にかけた。水どうの水をかけている人もいた。ハットで火をたたいたり、足でふんづけたりした。ぼくは、ハットで水をくむ時、足をすべらせて川の中へ入ってしまった。だけど、全く気にならなかった。ようやく火が消えると、みんなほっとした様に笑った。ぼくも笑った。ぼくは、こうふんした。ぼくも、先輩の仲間入りが出来て、消火作業をした事が、うれしかった。苦しい事もあるけれど、これからも先輩達に負けずに、思いやりと責任感のあるスカウトとして、がんばろうと決心した。



浜松14団のこと

カブ隊くま 田中賢治

ぼくたち浜松14団カブ隊は、成子の教会にあります。

ぼくたちの隊長は小出隊長です。

隊舎の囲りに森林があります。ときどきボーイスカウトのお兄さんたちとバーベキューをやったりします。

夏には、水泳大会をしたり、こうさくをしたり、又、冬にはスキーにいたりします。

それから月に一度ミサがあります。ミサとは、教会の中で神父様がキリストの教えの話しをしてくれます。

ときどきゲームをやります。クイズをやったりします。天童川でつりをやったり、いもに会をやったりしました。

お父さんといっしょにこうさくをつくったときに、終わってからボーイの人たちがそうめんを作ってくれました。ちょっとへんな味がしたけどおいしかったです。

* 浜松第15団* スカウトのひろば *

班長になって

ボーイ隊 豊田裕一

班長になって一番苦労した事は、責任ということだ。前は班の中でも失敗は、すべて、「班長！」だった。また、それですんだ。

でも今年はずがう。自分が班長だということで一年前の班長訓練野営で学んだ事をスカウト手帳をみながら思い出した。そして今、本当に班長というものが、どれだけ、重大できつい仕事だという事が、わかった。

今年のぼくの班は、カブから入ってきた初級が二名もいる。その初級と他の班員に、ボーイスカウトの楽しさなどを一つずつ、おしえてあげたいと思っている。

それにはまず班員から信らされる事に、はじめは重点をおいてきたいと思う。そして班員の一人ずつが、立派な班員になるよう、努めていきたい。

そして団で一番よい班にしていきたいと思う。

班長になって

ボーイ隊 村松克昭

班長になって楽しいことや嬉しいことがいろいろありました。班長になったばかりは、なにをやっているのかわかりませんでした。一番心ばいだったことは、班員をひっぱって先頭になれるかということでした。

しっぱいしたこといろいろありました。班員へれんらくするのをなんとかかわすれて班員が隊集会へ来なかったこともありました。

また班長になってよかったことは、集団の力をうまく利用できることでした。

ぼくの班は6人です。一級、二級が一人ずつというところが少し不便です。班員がときどき言うことを聞いてくれないときがあります。そんなとき自分で「まだまだ班員をひっぱって行けないな」と思います。

でもこれから少しずつでもひっぱって行くようにがんばって少しでもほかの班よりよくしていきたいです。



組長になって

カブ隊四組 内山尚行

ぼくは、今年くまになった。カブスカウト生活最後の年になってしまった。

四月に、組長、次長の任名式があり、ぼくは、四組の組長に任名された。その時は、みんなをひっぱって行けるかと、心配でむねがドキドキしていた。

五月のハイキングの時だった。ハイキングが終わり、電車で隊に帰る時に、隊長は、「あともう少しで電車がくるぞ」といった。ぼくはその時急に、思い出した。去年のハイキングの時、同じように、電車に乗った事がある。車中での行動が悪くて、組長がひどくしかられた事がある。ぼくは、急いでみんなをならべさせた。隊に帰ったら、ぼく達の組がせい列車中のたいどよかったので、ゆうしゅう班として表彰された。ぼくは、その時少しの行動でも大切なんだなあ、と思った。

今年で最後。くいのないようにがんばろう。



くまになって

カブ隊三組 金森久幸

この間は、くまになって初めてしゃえいに行った。ぼくは三組の組長で、みんなの世話をしなければいけない。くつの整とんなんかいっしょに行った。お父さんに言われてやったこともあったが、いつもそろえてあげた。

それに、何べんも組長会議があったりで去年の組長も大へんだったろうなあと思った。ぼくたちの組もゆうしゅうはんになろうと一生けん命だが、せい列するときにはちゃんとならんでくれない人がいるので、そういう所からぼくのやり方が、よくないのかなあと思って反省する。

でもくまになって楽しいときもある。組長どうしでおふろに入ったときだ。ちょっとさわりだけど、楽しかった。そして、うれしいときもあった。夜、組長会議が終ってぼくのへやに入ると、ちゃんとふとんをしいといてあったのだ。

しかやうさぎは、世話がやけるときもあるけど、いい所もあるなあと思った。

* 浜松第21団* スカウトのひろば *

しゃえいのこと

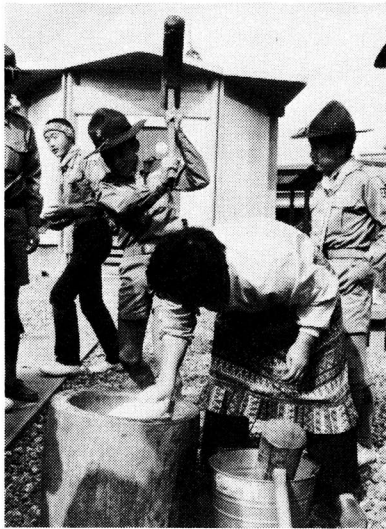
カブ隊 中沢高司

ぼくは、5月26日に、みょうおんじでしゃえいをしました。ねぶくろをもって、6時20分ごろに、ともてる君といっしょにおとうさんにおくってもらいました。

みょうおんじについてからすこしあそんで、7時になるまで外で歌をうたったりしました。7時になったのでお寺の中にはいって、1組の歌、2組、3組の歌などの歌を歌ったり、組長のはた、カブのはたを作ったりしました。

ぼくがトイレに行ってくるときゆうにゴロゴロという音がしました。カミナリがなりました。それといっしょに雨もふりました。だんだんくらくらなくなってきました。それにつれて雨もカミナリもだんだん強くなりうすきみわらなくなってきました。そしたら、たいながきもだめしをやるか。といました。みんながいよいよいったのでやめました。もう10時になるのでねることになりました。

ぼくは、はじめにどんなことをやるのかわからないのでいやだと思いましたが、とてもたのしい1日でした。



稲作について

ボーイ隊コブラ班 加藤和宏

6月17日の日曜日は浜松21団ボーイスカウト隊の田植えでした。しかし、自分は部活のこう式戦と重なってしまったので、欠席してしまいました。

稲作は、日本人である以上とても大切だと思います。それは、米飯が主食だからです。昭和ひとけた生まれの人たちに比べたら、自分たちは幸せだと思います。むかしの人は、ひえ、あわ、などを食べていたという話しです。そういう点からいって、この間の田植えに出席できなかったのは、すごく残念で申し訳なくて、仕方ありません。それから、これからは米を食べるときに、そだててくれた人のことを考え、1粒1粒大切にかみしめたいです。稲作で米を育てるまでの苦勞を考えると、絶対にそまつにはできません。田植え、害虫殺し、稲刈り、だっこく、

等他にもいろいろ作業を数えると、きりがないので。そのときの苦勞を考えると、もっと、ごはんを大事にするよう心がけます。



はじめて田植をやって

ボーイ隊トラ班 鈴木秀明

ぼくが、はじめて田植えをやって思ったのは、考えていたより、とてもむずかしいことでした。なぜかという、稲を植える時に、深すぎても浅すぎてもいけないので、とてもむずかしかったです。次は、稲の数でこまりました。隊長は、うるちは2~3本のたばで植えて、もち米は4~5本のたばで植えるようにいったのに、ぼくは、3本では少し少ないと思って、4本ぐらいのたばにして植えたので、あとから「ちゃんと育つかなあ。」と、心配になりました。そして、うるちが終わり、もち米の所へ行ったらもう大人の人がやっていたので、ぼくは「もうやらなくてもいいのかなあ。」と思い、少し遊んでいたら、大人の人が、「あなたたちもやりなさいよ。」といったので、ぼくは、田んぼの中へ入って稲を植えはじめました。やっていたら、「この稲は、先を少しち切ってやるのよ。」と、大人の人がおしえてくれたので、「どうしてかなあ。」と思いました。

田植えが終わると足のまわりは、どろだらけで、気持ちが悪かったです。そのあと、妙恩寺で食べたそうめんは、とてもおいしかったです。今度、稲を見に行くのが楽しみです。

みょうおんじにとまったこと

カブ隊 池野隆治

カブスカウトに入ってはじめてとまりました。はじめに、たいちょうのお話を聞きました。おてらの中に入って、ハンカチおとしをしました。あてられそうになって、ドキドキしました。みんな、たのしそうにやっていました。夜になって、雨がふってきてかみなりもなってきました。ぼくは、かみなりが大きいので、ふるえてきました。たいちょうがきもだめしをやりますと、いったので、もっとふるえてきました。やらなかったのであんしんしました。みんなはグウグウねていたけど、ぼくはかみなりがこわいのでなかなかねむれませんでした。

ぼくは、お父さん、お母さんがいなかったで、自分でぜんぶやることができましたので、じしんがつかしました。

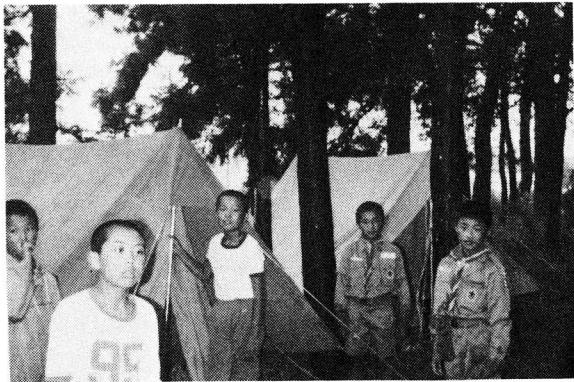
カブスカウトに入って、おともだちができ、いろいろなことをおぼえました。たのしい1日でした。

* 浜松第22団* スカウトのひろば *

予備キャンプをやって

ボーイ隊 石津 広也

ぼくは、ボーイスカウトに入団して、三年ぐらいになると思います。その間に、いろいろな行事がありました。その中でもキャンプは、予備キャンプも加えて、もう数回やりました。でも、数回やったキャンプの中でも、とくに心に残っているのは、六月三十日、七月一日と、行なった予備キャンプでした。



まず、ほって作るかまどから、木を組んで作る、立ちかまどに変わったこと。その立ちかまどを作る時、ぼくは二種類のなわ結びを覚えました。今まではただ、見ているだけでしたが、やってみていがいと難しいと思いました。火をたいているとき、たびたび底に穴があくと、いうことがありました。でも、そんなものは、みんなの力ですぐ、ふさいでしまいました。

一番心にやきついたのは、自分でも最悪と思われた、午前三時起きです。これは、大石君のかんちがいからおこったのです。ぼくたちがねっていると、

「おい、起きろ。もう五時だぞ。」

と、大石君が言ってきたのです。ぼくたちは、その声で起き、ねむい目をこすりながら、火をたいていたのです。そうすると隊長が、起きてきて、

「まだ、三時だぞ。」

と、言いました。ぼくは、おどろきました。ぼくだけでなくみんなも。それからまた、みんなねたのですが、ぼくは、ね不足になりやすくて、その日と、二日間ねむいままでした。そのため、勉強も、ぜんぜんはかどりませんでした。まだ、いろいろ

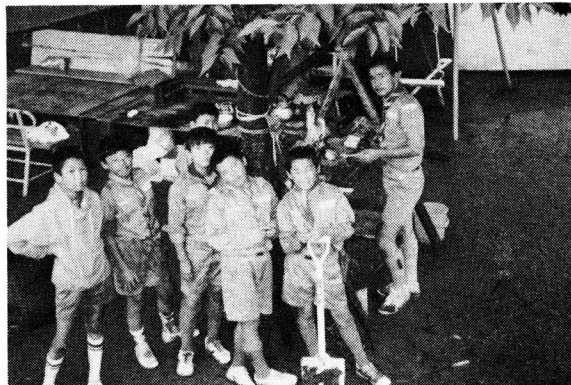


な事が、あったけれど、まあ、こんなものだと、思います。一つ書きわすれましたが、これは雨の中のことでした。こんなことがあった上に、雨にぬれるのですから、大変な苦労がありました。

楽しかった事、苦しかった事

ボーイ隊 山内 清久

ぼくは、ボーイスカウトに入隊して、楽しい事、苦しい事もあった。どちらかと、言うくと、楽しい方が多いが、苦しい事もある。楽しい事のなかで、とくに、よかったのが、スキーです。リフトもながめが、よかったし、ゲームもよかった。苦しかったのは、くんれんやえいの時です。ねぶくろがおもしろかった。たおれそうになった。だけど、夜のごはんがうまかった。おやごどんぶりだけど、おやこスープのように水分がおおかった。やっぱりボーイスカウトに、はいつてよかったと思います。



募金の感想

ボーイ隊 大石、山崎

募金を一番初めに見たのは、一年生のころ変な洋服を着た人達が一生懸命大きな声を出して、箱を持ってやっている。これが一番初めのかんそうだった。この頃はちゃんとした意味もわかって来たのでよいのですが、もっと今のせだいの人達にどうしてやっているのか、してほしいのです。ぼくは初めてやった時は、声がふるえていたけど、今頃はやっと、板について、大声でよびかけることができるようになった。町の中で「お願いします。お願いします。」と、声を上げるのは、今でも少し、はずかしい。これからは本当に、ほうしのつもりでしっかりやりたいと、思います。ボーイスカウトに入るととてもよかったですと思います。

予備キャンプに行って

ボーイ隊 彦坂 晃弘

ぼくは熊野神社に行ってみてよかったと思う。最初の予定とちがってテントが建てられた。予定から一時間三十分遅れたの

であるが、この事はぼくたちが悪いのではないから別に責任はないと思う。ぼくは班長だけ指図した事を班員はやってくれなかった。しかし、今いったのは見習いの事です。話はかわって、よかった事は、食事の時でした。

それから次の日の朝三時から起きて炊事をやる。やる気のある事です。悪かったところは、みんなが一生懸命やっているのに、見習いスカウトは手伝おうとするどころか、ブランコにのって遊んでいたことと、消燈時間をすぎても起きていた事です。こんなことを直していきたいと思います。一時頃もう一人の班長と見回りにいきましたが、もう眠っていました。ついさっきまでさわいでいたので、ちょっと信じられませんでした。全体を通して見て、よかったと思います。見習いの人たちがもっと協力してくれたら、もっともっとよくなり、今度の本キャンプの時には素晴らしい成果が出ると思っています。家に帰っていると、すぐ眠ってしまうほどつかれたキャンプでした。

舎 営

浜松第15団 カブ隊 伊藤博音

6月23、24日に、住吉青少年の家で1泊2日の舎営をしました。2日とも、とても天気がよくて気持ちがよかったです。23日の夜に夜間飛行をやった。このことが、今度の舎営の一番の思い出になった。

初めにネッカチーフで目かくしをして、木にしぼってあるロープを手でさわりながら歩いた。そして森の中へ入って行きました。ぼくが、一番初めに行く番なのでロープにさわって歩くだけなので不安でいっぱいだった。そして途中からネッカチーフをとり、木の枝に結んであるリボンにしたがって組でかたまりながら歩いた。道の分かれている所がこまりました。そしてやっとコースをまちがえないでできたのでよかったです。とてもこわかったけれど、もう一度やってみたいと思いました。

ボーイスカウトの魅力

浜松第14団 ボーイ隊 斉藤公誉

最近ぼくは、ボーイスカウト活動に、あまり参加していない。それというのも、中学に入り、部活がいそがしくなってきた、部活の方を主にやっているからだ。

ぼくの入っている卓球部の顧問の先生が、あまりにも一生懸命にやりすぎて、活動日(日曜、主に10時～12時)にもやるのでどうしても部活の方に身が入ってしまう。

「それでは、なぜボーイスカウトをやめないんだ。」と言われると、とても困ってしまう。やはり、ボーイの魅力であろう。「では、その魅力とはどんなものか。」とさらに追及されたらこう答えるだろう。

奉仕をするという事がくせになる。いろいろな知識が身に付く。人々に対しての親しみなどが、本当の意味で、体で覚える。

特別に例を上げる事もなく、分かり得る事と思う。(特に同じボーイスカウト仲間諸君。) まあ、分からない人のため、1

つだけ例を上げると、……この間、中学一年生、夏休み野外訓練の実行委員選出を決める時、1番最初ぼくの名が出て、他に何人も出た。結局ぼくに決定。そして実行委員会(話し合い)に出て、なんと委員長。……この例は、みな、ボーイスカウトで学んだ知識が物を言った。

しかし、たかがこんな事だけでぼくはボーイスカウトを続けている訳ではない。それに、こんな事のために貴重なボーイスカウト活動を続けたくない。つまり、ぼくはみんなのためという事もあるが、何より「自分のため」を強調したい。

ぼくは、今の部活があまり好きにはなれないが、何といてもAリーグ(リーグ別に分けてある。A・B・C・D)なので、そうそう休む事も出来ない。今までの文中にあるように、ぼくは本当ならば、ボーイスカウトへ行きたい。ボーイスカウトが好きだから。

地区のうごき

- 3月20日 地区委員会(法林寺)
- 22～25日 班長訓練野営(川宇連野営場)
- 27日 地区コミ会議(法林寺)
- 31日 班長訓練野営反省会(ク)
- 4月10日 地区委員会(ク)
- 15日 浜松23団BS隊発隊式(志都呂幼稚園)
- 16日 地区訓練チーム会議(法林寺)
- 18日 野営行事・財政委員会会議(ク)
- ク 中央小地区リーダー会(ク)
- 5月3～5日 浜松まつり駐車場奉仕(中田島)
- 13日 中央小地区DM研修会(東部公民館)
- 16日 財政委員会会議(法林寺)
- ク 中央小地区リーダー会(ク)
- 20日 中央小地区DC研修会(青少年の家)
- 22日 地区訓練チーム会議(法林寺)
- 24日 地区総会(八幡閣)
- 6月3日 県連総会
- 10日 第2回リーダー養成講座(曳馬公民館)
- 11日 組織拡張委員会会議(法林寺)
- ク 地区コミ会議(ク)
- 12日 ヨット委員会会議(内山宅)
- 18日 地区訓練チーム会議(法林寺)
- 19日 地区委員会(ク)
- 20日 中央小地区リーダー会(ク)
- 22日 RS・SSリーダー会(ク)
- 24日 団委員研修会(曳馬公民館)
- 30～7月1日 第3回リーダー養成講座(芝形野営場)

発 行 所

第76号

日本ボーイスカウト浜松地区事務所
浜松市利町70-4 児童会館内

編集発行責任者 山中将司
印刷所 (株)朝日堂印刷所

昭和54年7月25日発行